



読字 原田 鏡

No. 665

2012/3/25

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒110-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-8256  
岡山市東区3-8-30 514  
TEL:086(272)-3016  
郵便番号1100  
01250-04-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8511  
倉敷市遊島中央1-8-4  
(宮地方)  
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.biz/>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp

## 西日本・支部運営者会議の感想

谷川浩文

### アジアの平和と安定に

日中友好協会は設立当初から草の根活動を展開して、一時中国側との断絶は有ったものの運動に賛同する会員の会費で運営されている協会の地道な活動に中国側からの信頼が次第に高まり、1999年、不正常な関係を修復することができました。以後全国で78(再建も含む)もの支部が新たな設立に至りました。我々は先人の不断の努力に敬服するとともに、不再戦平和という願いを決して絶やしてはいけな

### 支部活動の基本5原則

協会の本部事務局長からもしきりに言及されていた支部活動の基本5原則というものを私なりに検証してみたいと思います。第一、定期的な理事会の

開催は遵守されています。第二、多彩な行事の開催をすることに

関係しては、中国語講座など文化講座受講生の関心を引くような行事があまりないような気がします。中国人留学生との交流会はとても良い企画だと思つたのですが、土壇場になつてキャンセルになつたことは本当に残念でした。第三、会員を増やすことに関しては、岡山は保守層が多いため難しいかもしれませんが、日中の強みである草の根活動を展開して行政や保守層をも巻き込みながら活動を押し広げ、市民権を得ることが出来れば必ずと会員は増えるでしょう。第四、集金を確実にを行うことに関して、中国語講座を例にとると、出席がまばらな時が多いため受講生全員が出席になるまで集金が延ばし延ばしになつていきます。その間、講座を途中で辞めた方からは、実質、未収金のまま余儀なく退会を見逃してしまつているのが現状です。会費にしても授業料にしても前納制の徹底を確実にしなければ支部の財政基盤は脆弱な

ものになつてしまつてしまうでしょう。第五、月三度のニュースの発行は優秀とお褒めの言葉を頂きましたが、ホームページが一年あまり更新されていないのが現状です。

会員の顔が見える日常的な活動をしているか?との問いかけがありました。双方の顔が見えてないのが事実だと思えます。日中の役員の顔を知らないどころか、日中友好協会の文化活動の一環として中国語講座が運営されていること自体を知らない方が多いです。新聞の購読をやめる代わりに授業料を安くして欲しいというのは、本末転倒な話です。私も理解を示しています。ある方が中国語講座は日中から独り歩きをしている。」と嘆いていました。

### 青年部の活動と「草の根運動」

最後に、私が特筆すべき点は青年部の活動が活発な地域こそ会員は右肩上がりに増えているという現状です。特に福岡県連の青年部長は私と同年代でしたが、留学生との交流会も活発に企画し次々と成功を収めています。留学生への生活必需品の支援も大変喜ばれたそうです。メディアを通してお互いに敵対意識を持つている日中関

係ですが、福岡県連の草の根活動を通して気づくことは、両者のいがみ合いもお互い政治家やメディアに翻弄され、利用されていただけということ。ある支部では、こうした日中の運動に感激し、新聞の発送を手伝つてくれたり漫画展ではボランティアとして協力してくれたりした留学生もいたそうです。このような喜ばしいエピソードを耳にしてやはり国レベルだけではなく、何度も出て来ます

が「草の根活動」の意義が見直されるべきではないかと私には思えてしかたがないのです。くだんの青年部長は私の拙い壇上での発言の後に自ら歩み寄り握手を求めて来ました。岡山でもぜひ青年部を立ち上げてください!」その言葉は私には心に浸みわたるような熱い

## 平和だから演奏できる

日中岡山支部 小林軍治

3月3日、岡山市東公民館で文化祭が開催されました。中国残留日本人孤児で日本語教室受講生の高杉久治さんが、二胡同好会の一員として、実技発表の部で演奏しました。

今回は、前列の正面で約50人の参加者の前で、堂々と演奏しました。

司会者が、高杉さんを山陽新聞の瀬尾記者の記事(2月26日付、あかり)をもとに紹

介しました。

演奏曲目は「四季の歌」「蘇州夜曲」など7曲です。高杉さんは、最後の曲「春天在哪里」(春はいずこに)先導をしました。二胡の音色は、いつ聴いても心にしみます。あかりのなかで、高杉さんが述べている「平和だから演奏できる。みんなの音がぴったり合うときれいです。」の通りです。

高杉さんの奥さんや芳田公民館の日本語教室受講生も参加し、熱心に演奏に耳をかたむけました。

穏やかな表情で二胡を奏でる高杉さんを見ると、2003年に「孤児」訴訟で知り合つてからの日々を思い出しました。



中央が高杉さん

坪井あき子

いつまで待てばよいのか、空港の職員にもわからないうらい。乗客たちは椅子に坐って、ただ待つのみ。

地下壕をみたあと、ホロンポイル草原のなかの観光地へ。宿舎、売店（ほこりにまみれた民芸品のようなものがわびしく並んでいて店員はいない）、石を重ねた小さな塚（オボー）がある。白いパオが並び、馬が歩いてくる。ぐるると、360度、草原がひろがる風景には心が放たれていく」という実感があつた。

ひとりに一本ずつ渡された赤い布をオボーの上に置いたり、小枝にくくりつけたりした。青空をバックに赤い布がヒラヒラするのは多少宗教的であり、異国的だった。

つめかけた観光客で、食堂は流れ作業のようにあわただしく人々が入れかわる。ゆつくり味わう時間もなかった、羊肉の料理だった。

ガイドの董さんとドライバーさんに、ハイラル空港まで送ってもらい別れたあと、待合室まで入っていく。

ところが、航空機は予定どおりに飛ばないことがわかった。見あげる表示板には「KN29 50北京南苑北京因流量控制延誤」とでている。行く先の北京南苑空港の事情らしいが、それ以上の説明はない。



真っ赤にかざられたオボー

この空港の待合室には図書コーナーがあり、背表紙の文字をみて回ったり、CDを売っている女店員と話したりした。モンゴル音楽のCDは一枚70元とのことだった。

サクラと太極拳で

日中友好!

里山センター

4月1日(日) 10時

寒くても暑くても、なにがなんでも、4月1日(日)は里山センターです。

すきな食べもの飲みものをもつて、ごちそうもつてくる人もいるから、おにぎり1個でも大丈夫。

太極拳初めての人、大歓迎。オカリナやハーモニカの楽団も出演?



ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか?

11

竹内和夫

《討論 1》

A: 「食べる」や「飲む」が単語なのは、あたりまえだけど、「食べて」や「飲んだ」は2語なんですか? 国文法、(学校文法)では、そのように習ったと思うけど。

B: 「飲ん」と「だ」にわけるとローマ字で書くと non da, tabe ta になるの? nonなんて単語ないよ。

C: 啄木は tatete「立てて」、areta「荒れた」、tatinobotta「立ちのぼった」、tirabatta「散らばった」、otituita「落ち着いた」などの-te や-ta を「語尾」と考えているようだ。

A: 国文法では「た、だ」を「過去・完了の助動詞」といっているが、「のぼっ」は「促音便形」、「飲ん」は「撥音便形」といっている。さっぱりわからなかったよ。これで2つの単語というわけ?

B: 詞いうのは単語のことだ。名詞、動詞、形容詞、助動詞、助詞...などがある。

C: そうすると啄木は、助動詞という単語を認めない立場なのだね。

わたしは啄木派だ。《AさんBさんは?》

A: しゃべってる人が、どこで切るか。「泳い」と「だ」を絶対に切ってしゃべらないと思うから、啄木派だろう。

B: 「助動詞」に分類されている、「れる(受けみ)」だの、「たい(希望)」だの...のまえで切ってしゃべらないから、語尾のほうが賛成だね。

《憲法23条には、なんと?》

つづく



「同学3人・マレーシアの旅」5

(2011年12月18日〜23日)

中国語講座火曜日クラス 平岩博子

5日目の朝はペナン島のホテルで目ざめました。

午前中のフリータイムを利用して、女性2人はスパでのマッサージを堪能しました。全身にパックを施された後、バラの花びらが浮かべられたフラワーバスに入り、そのあとにマッサージという順序で、予定の2時間はあつという間に過ぎてしまいました。まさに至福のひとときを過ごした2人なのでした。

午後からはいよいよ旅の観光も最終となるペナン島観光です。寝釈迦仏寺院、ビルマ寺院、植物園などを見学の後、ペナン空港へと向かいました。

空港で5日間現地ガイドを務めてくれたマイケルと別れを惜しみつつ、ペナンを後にし国内線でクアラルンプールへ。そして、夜11時50分、無事帰国の途へと着いたのでした。

マレーシアは、私にとっては初めての東南アジアへの旅でした。そして今まで旅したヨーロッパや中国とは大きく異なった印象を受けた国でもありました。その一番の理由はイスラム教という、日本ではほとんど目にする事のない宗教に出会ったこと、道ゆく女性の多くはベールに身を包み、街のなかには独特の



ペナン島のホテル

丸屋根を持つモスクが異彩を放っています。

世界で13億人が信仰するといふイスラム教に、今回の旅で私としても興味を抱きました。こうして旅は私に今まで知らなかった未知に出会える喜びをくくれます。これからの未知に出会うため旅をつづけていこうと強く願っています。

おわり



ペナン島の寝釈迦仏寺院

今回の新聞送付作業は4月2(月)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

石川 小林 和 竹内 和 竹内 和 坪井 森 西 三 垣